

MOOV products

大阪のものづくりが産み出したイモノ大集合。
奇抜なカタチやデザイン、機能美も豊かな製品を紹介。



大阪府内のものづくり中小企業の優れた技術・
創造力にあふれた製品(消費財)を、「大阪製」
としてブランド認証しています。
<http://www.osakasei.m-osaka.com/>



最高級コットンの 感触が活かされた 日本製プレミアム・タオル。



毛足の長いロングパイルのふっくらとした柔らかなさは、柔軟剤を必要としない。



A

日本タオル発祥の地、泉州で祖父が1971年に創業した会社を引き継いだ三代目、土井紀人社長。この道一筋に経験を重ねてきたタオルマイスターと呼ぶにふさわしい氏が、できあがった製品に触れた瞬間の実感がそのままネーミングになった「おう！ えーやん」。最高級コットンとして知られるスービマ綿にオフセットヤーンと呼ばれる特殊な撚りを施し、空気を含ませるぎゅぐゅとした織維間のある織り方で作られた高級タオルだ。柔らかいタオルは数あれど「これほど肌触りと吸水性の良いタオルに仕上げるのには苦労しました」と土井社長は言う。美用性に重きをおく泉州タオル伝統の後晒しの手法を踏襲し、プレミアムな品質を備えながら普段使いのできるリーズナブルな価格設定も魅力。タオルの老舗が送り出すオリジナル商品の第一号となった。「使う人が笑顔になれる商品づくり」をモットーに、同社では次年度、「おう！ えーやん」とはまた質感の違う新しいブランドを展開する予定。

新興タオル株式会社

結婚系メーカー・外注先のサイジングや感し業者など、タオルを愛する人たちが気持ちをもたせあわせてものづくりを推進。自社栽培の綿を少量ブランドし、社員皆の想いをタオルに込めている。

<http://www.shinko-towel.co.jp/>

●おう！ えーやん

B

「役に立てるかもしれない」——。代表取締役社長、松田和人氏がそう考えたのは、東日本大震災直後の避難所の悩みを知った時だった。不足していたプライベートを守る間仕切りや女子更衣室、衣類を入れる簡易チェストなどを次々に段ボールで作り、被災地へ直接赴き届けた。そして、保育所が流されて園児が使う机が足りないという情報を耳にすると、段ボール製の幼児用デスクセットを考案。3ヵ月後、天面に水性ペンなどを拭き取れるフィルム貼り加工を施し、組み立ては工具を使わずにできる「おべんきょうごっこ」として被災地へ届けた。同氏は「梱包の役割しかなかった段ボールが、工夫をすれば価値の高い商品になると確信した」と語る。その後、リビング学習の必要性や、エコ素材が注目を集める中、改良を加えて商品化を実現した。現在は柄やサイズのバリエーションを増やし、さらなる販促に力を注いでいる。

マツダ紙工業株式会社

55年前の創業当初から「お客様の困っていることを聞く」というスタイルを貫く同社、段ボールには思えない「おべんきょうごっこ」の外観や強度には、オフセット印刷の技術を活かした紙造りや包装設計のノウハウが活かされている。

<http://www.matsuda-siko.com/>

●おべんきょうごっこ



幼児期のリビング学習に！被災者の要望から生まれた、エコ素材のデスクセット。



軽量ながら机と椅子の耐荷重は70kgを誇る。コイン遊びや消しゴムのゴミを掃除できる箱付き。



一度手にしたら、驚かせる自信アリ！ 超極小サイズで配色も美しい本革財布。



色柄はどれも個性的。小銭入れと札入れ、カードが約3枚ずつ収納可能なポケットも2カ所装備されている。



C

「ポキート」は札入れ、小銭入れ、カード入れの機能を網羅し、小ささを極めた財布だ。曲線が美しいデザインで、彩りが鮮やか。芸術家たちの作品が街にあふれるヨーロッパで暮らした経験で、色彩やデザインへの感覚が磨かれたという代表取締役の中辻大也氏。素材は、環境に優しい植物由来のタンニンでなめし、仕上げまで約180日はかかるという本革の栃木レザー。革小物の路上販売から始め、出品したイベントなどを通じてユーザーの意見を取り入れて改良し販売するうちに、「小さい」などの遊び心あふれる商品が大手百貨店のバイヤーの目にも留まるようになった。「買っていたいた方に『使い込んだら色に深みが出て手放さない』って言われるのが嬉しいです。環境のことも含めて気持ちよく使い続けてもらえるものを作っていきたい」と同氏は目を輝かせる。現在はインターネット通販での売上げも増加し販売力強化に取り組んでいる。

株式会社ガツツ

中辻社長は「思い立ったら即行動」。19歳から23歳までは飲食業を志し、ヨーロッパの店で働いた。ネット上で不自由な環境に生きる子供たちに触れれば「モノづくりの学校」の設立を考案。「1人で100歩進んで7人100人」を歩進める力を持ちたいが座右の銘。

<http://quatrogats.com/>

●小さい「ポキート」

編集後記

ネットで世界とつながっているが、お隣さんは何をしているのかも知らない。そんな現代的な孤立と孤独からものづくり企業を救う、力強い道筋を示すのが巻頭で紹介したエコミック・ガーデニングの考え方。地域の土壌(資源)を活かして、地域オリジナルな繁華の花をいかに咲かせるか。産・学・公・民・金、それぞれの庭師(ガーデナー)たちの連携を熟く深める機が熟していると感じます。

(山藤)

スタッフ

企画・編集
(株)ショーエイベストコーポレーション

編集長 写真 アートディレクター
山藤ヒラク(ショーエイベスト) 岩西信二(IPS) 高谷朋世(キューブデザイン)

ライター 印刷
工藤拓路(ショーエイベスト) 昭英印刷(株)

金井直子(ショーエイベスト)

MOOVpress 08 Jan. 2014

大阪のものづくり企業を知る、動く、繋がる。【ムーブプレス】

発行
MOOV(ものづくりビジネスセンター大阪)
大阪府工務部 中小企業支援室(ものづくり支援課)
〒574-0011 大阪府東淀川区4-17(クリエイションコア大阪内)
TEL:06-6748-1011 FAX:06-6745-2362
<http://www.m-osaka.com/>

2014年1月23日 発行